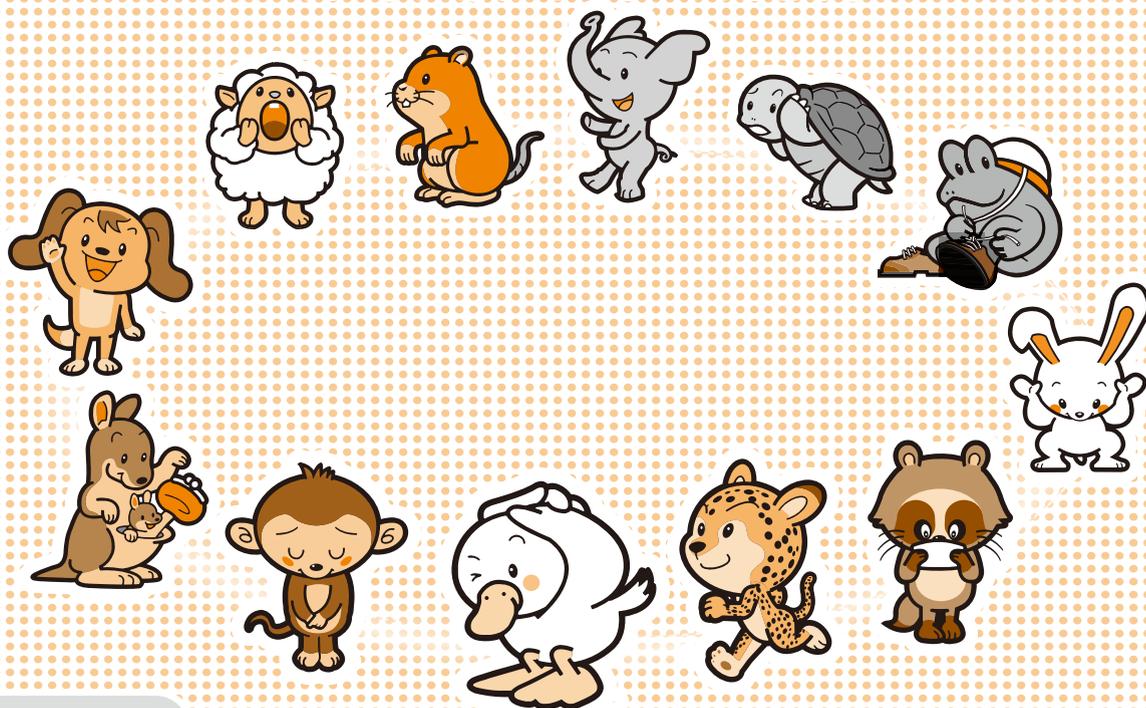


CARD GAME ダック **ぼうさい Duck**

カードにあわせてポーズをとろう!



実施の手引き

I ゲームの進め方

1. 目的
2. 概要
3. 用意するもの
4. 実施方法

II 使い方の工夫

1. 難しいと思われるときは
2. より楽しくするために
3. いろいろなルール

III ミニ解説

資料(カード一覧)

指導者・保護者の皆様へ

このカードゲームでは、楽しみながら災害に対するさまざまな行動を学ぶことができます。しかし、「子ども自身がとる安全の行動」は、時代の移り変わりや防災研究の進展などによって日々変化しています。指導される方やご家族の方々が、そのつど子どもたちの様子を見ながら補足・訂正するなど、柔軟にご活用ください。

一般社団法人 **日本損害保険協会**
協力 公益財団法人 **市民防災研究所**

I ゲームの進め方

1. 目的

「ぼうさいダック」は、安全・安心の「最初の第一歩」(英語ではファースト・ムーヴ“first move”と言います)を、子どもたちに実際に身体を動かし声をだして遊びながら学んでもらうためのゲームです。

このゲームには防災や日常の危険から身を守ることを学ぶカードだけではなく、挨拶やマナーといった日常の習慣についても合わせて学べるカードも含めてあります。

なお、対象年齢は4歳以上としています。

2. 概要

ゲームは、表面に危険(身の回りの危険、災害)のイラストが、裏面にポーズをとっている動物のイラストの描かれたカードを使って行います。

先生が、危険が描かれている表面を示したあと、子どもたちが一斉にその危険から身を守るポーズをとります。ポーズと一緒に声を出したりもします。

くり返し遊んでいるうちに、「最初の第一歩」が自然に身につくようになります。

3. 用意するもの

表面に危険、裏面にポーズをとった動物の描いてあるカード。
(身の回りの危険10種類、挨拶とマナー各1種類の計12枚)

*内容については、資料の表(P6)をご覧ください。

4. 実施方法

(1) 会場

- ①カードによっては、床に伏せる動作を行うものもあります。子ども同士、また周囲の壁と十分な距離がとれているか、確認して行ってください。
- ②このゲームは、屋内でも屋外でも行うことができます。

(2) 所要時間

- ①基本的な遊び方に要する時間はおよそ25分です。

ゲームの説明	5分
ポーズの練習	10分
ゲームの実施	10分
(解説)	10分)

- ②この時間は使うカードの種類や参加人数などによって変わります。使うカードの種類を増やせば時間が長くなり、種類を少なくすれば時間が短くなります(3ページの「II 使い方の工夫」を参照してください)。

(3) 基本的な遊び方

- ①危険が描かれている表面を見て、裏面にあるポーズを全員で覚えます。正しいポーズがとれるようくり返し練習してください。資料にあるように、ポーズをとると同時に声を出して遊ぶこともできます(「黙って動作をする」カードもあります：〈例〉「台風」カード)。



主に危険が描かれている表面



動物のポーズが描かれている裏面

- ②練習が終わったら、ゲームを始めます。
- ③先生がカードを持って、子どもたちにカードの表面を見せます。子どもたちは、そのカードにあったポーズを一斉にとります。あわせて「声を出す」練習もしていたら、声も一緒に出させてください。
- ④特に勝ち負けはありませんが、次のような「競争」を入れて遊ぶことも可能です。
〈例〉・間違ったポーズをとったら、1回休み
・ポーズをとるのが一番遅かった人が、1回休み など
その他の遊び方については、3ページの「II 使い方の工夫」を参考にしてください。

(4) 実施上の注意

- ①動作の中には速い動作、ゆっくりした動作があります。また、声についても、大きい声を出すもの、声を出さないものがあります。動作や声のこうした違いにメリハリをつけて、実施していただく、より効果的です。
- ②ゲーム中の安全にご注意ください。
ゲームは、機敏な動作を求めるものがあります。
子どもたち同士があわててぶつかったりしないよう、安全には十分気をつけてください。



II 使い方の工夫

1. 難しいと思われるときは

(1) カードの種類を減らす

使うカードの種類を減らします。カードの裏面のポーズが正しくできるようになったら、徐々にカードの種類を増やしていきます。

例として、最初は「地震」「台風」「知っている人」「悪いこと」の4種類で始めるといいでしょう。

(2) ポーズの描いてある裏面だけを使う

カードを子どもたちに示すとき、危険の描かれている表面ではなく、ポーズが描かれている裏面を出します。動物の絵を見て、同じポーズがとれるようにしましょう。

(3) 動作だけを行う

動作と共に声を出すのではなく、最初は動作だけ正しくできたら正解とします。

2. より楽しくするために

(1) 一番最初と、最後にもう一度「地震」のカードを出して、最初と最後は、「ダック!」と、みんなで声を出すなど、「決まり」をつくって実施します。

(2) 椅子取りゲームのように、音楽を流しながら行う。

音楽がストップしたら、先生がカードを出して、一斉にポーズをとります。

3. いろいろなルール

(1) 誰か1人を「鬼」(おに)に決めます。「鬼」は、ほかの人をまどわすために、わざと違うポーズをとってもいいことにします。「鬼」の違うポーズにまどわされずに正しいポーズができるでしょうか?

(例えば、次回の「鬼」として、先生が「鬼」になったり、一番早くポーズをとれた子どもを指名してもよいでしょう。)

(2) 相撲のように、2人の子どもを向かい合わせます。先生がカードを出して、どちらが早く正しいポーズをとることができるかを競います。(一斉実施の時のように、他の子どもの動きにつられて動くということがなくなりますので、本当に子ども達ひとり一人が覚えているのかを確認することができます。勝ち抜き戦で、優勝を決めてもいいでしょう。)

このゲームは、ここに挙げた遊び方以外にも、いろいろな遊び方ができます。いろいろと使い方を工夫して楽しみください。

III ミニ解説

楽しく遊びながら身につけたことは、頭だけで勉強した知識とちがって、身体に刻み込まれます。ですから、あくまで楽しく遊ぶことが大事ですが、子どもたちの年齢や状況によっては、ちょっとだけ解説をしてあげるといいでしょう。

【地震】

英語でダック(duck)というのは、「あひる」の意味と、「身をかがめる」という意味との2つの意味があります。「ダック(あひる)」のように身をかがめて頭を守るポーズを覚えましょう。多くの人が犠牲となった阪神・淡路大震災(1995年)でも、その約90%の方が家具や壁の下敷きとなって亡くなりました。教室ではしょうぶな机の下、家庭では勉強机やテーブルの下など、逃げ込む場所を決めておいてあげるとよいですね。「ダック」は頭を守るポーズです。

【津波】

津波とは何かを教えてください。実際の津波の映像を見せてあげるのもいいでしょう。海の下で地震が起きるとその衝撃で海水が盛り上がり大きな波になって襲ってきます。ですから、海の近くで地震を感じたらすぐに高いところに逃げる。できれば4～5階建て以上のビルか、海拔30メートル以上の高台に逃げましょう。海水浴のときは特に要注意です。「チータ」のようなスピードで避難しましょう。

【火事】

火事でこわいのは、火そのものよりも煙です。煙には有毒ガスが含まれていて、たくさん吸い込むと、とても危険です。煙の中を避難するときにはかわいいタヌキのようにハンカチを口にあって、できるだけ姿勢を低くすることも教えてください。火事と聞いたら「タヌキ」のポーズです。なお、きれいなハンカチを持ち歩くことは、衛生面からも重要です。幼稚園や学校に毎日持ってくるよう習慣づけましょう。

【台風】

台風は大きな被害をもたらします。でも、地震とちがって台風は突然やってくることはありません。必ず事前に、注意報や警報などの情報があります。ですから、「ウサギ」のように大きな耳を立ててしっかり情報を聞くことを教えてください。最初は先生やお家の人の言うこと、大きくなったら天気予報にも興味をもってもらいましょう。

【洪水】

洪水も台風と同じです。しっかり情報をキャッチして、早めの避難を心がけましょう。そのためにはしっかり歩ける「くつ」が必要です。雨や水といえばカエル。雨が激しくなったら、「カエル」のポーズと鳴き声で避難準備の開始です。

【雷】

雷は、高い場所、とがったものに落下しやすいものです。屋外にいたら、カメのように、できるだけ身体を丸めて低くかまえます。でも一番安全なのは、建物やクルマ、列車の中に避難することです。ちょうど「カメ」が甲羅に隠れてしまうように。

【蜂】

一般に蜂には急に動くものを攻撃する習性があります。ですから、蜂を手やハンカチなどで振り払うのはよくありません。むしろ、「ゾウ」のようにゆ〜っくり動いて徐々に蜂から遠ざかるよう教えてあげましょう。

【道路】

毎年、交通事故で多くの方が犠牲になっています。交通安全が大切なテーマであることに変わりはありません。「ネズミ」のようにキョロキョロと左右を何度も安全確認。徹底させてください。

【誘拐】

最近子どもを狙った物騒な事件がほんとうに多くなりました。一人で行動しないでお友だち数人で行動すること、知らない人にはついていけないことが大事です。もし連れて行かれそうになったら、オオカミに襲われそうになった「ヒツジ」のように、大きな声で「わあ〜!」と助けを呼びましょう。さあ、大きな声をだす練習です。

【知っている人】

お友だちやご近所の人には普段から、「こんにちは!」と元気よくご挨拶をするようにしましょう。「イヌ」だって安心できる人には一生懸命しっぽを振って挨拶してくれますよね。安全・安心のためには、普段の生活習慣、周りの人との関係づくりが実はとても大切なのです。そのことが、誘拐や交通事故を防ぎ、災害に対する備えにもなります。

【ひったくり】

子どもを狙うひったくりは少ないかも知れませんが、用心にごしたことはありません。それにカバンをブラブラさせて歩くと悪いもよらない事故にもつながります。大事なものが入ったカバンやバッグは胸の前でしっかり持つくせをつけましょう。「カンガルー」が袋の中に子どもを大事に抱えているように。

【悪いこと】

お友だちとケンカしたり、モノを壊したり、悪いことをしたときは、「ごめんなさい」ときちんと謝るようにしましょう。「サル」のポーズでおぼえましょう。

資料「ぼうさいダック」カード一覧

No.	防災の対象	動物	声	コメント(下段はポーズ)	メッセージ
1	地震	ダック	ダック!	じしんのときは… 「ダック」のポーズ *両手を頭に乗せかがみ込む	まず あたまを まもろう。 (しょうぶな つくえの したにもぐる。)
2	津波	チータ	びゅ〜ん	つなみのときは… 「チータ」のポーズ *両手を早く振る	できるだけ たかいところまで はしろう。
3	火事	タヌキ	うっ	かじのときは… 「タヌキ」のポーズ *両手を口にあてる	ハンカチを くちにあてよう。 (いつもハンカチをも つようにね。)
4	台風	ウサギ	しーん (…黙る)	たいふうのときは… 「ウサギ」のポーズ *両耳に手をあてる	じょうほうを ききましょう。
5	洪水	カエル	ケロケロ	こうずいのは… 「カエル」のポーズ *くつをはくように	しっかりあるけるように じゅんびしよう。
6	雷	カメ	ゴロゴロ	かみなりのは… 「カメ」のポーズ *体を丸めて低くかまえる	からだをまるめてひくく かがもう。 たてもののなかに にげるのが あんぜん。
7	蜂	ゾウ	ゆ〜っくり	はちをみたら… 「ゾウ」のポーズ *両手を広げてゆっくり振る	あわてて うごく あぶないよ。
8	道路	ネズミ	右を見て 左を見て (…きよろきよ)	みちをわたるときは… 「ネズミ」のポーズ *右左をキョロキョロ	あんぜん かくにん みぎ ひだり もういちど みぎをみて。
9	誘拐	ヒツジ	わあ〜!	ゆうかいされそうになったら… 「ヒツジ」のポーズ *大きな声で「助けて!」と 叫ぶ	おおきなこえ!
10	知っている人	イヌ	こんにちは!	知っているひとにあったら… 「イヌ」のポーズ *にっこり笑って右手をあげる	げんきに あいさつ!
11	ひったくり	カンガルー	ダメー!	ひったくりにあわないように… 「カンガルー」のポーズ *大事な袋をかかえるように しっかりと胸の中に	だいじなものは しっかり かかえて。
12	悪いこと	サル	ごめんなさい	わるいことをしたときは… 「サル」のポーズ *頭をさげる	まずは ごめんなさい。

CARD GAME  **ぼうさい Duck**

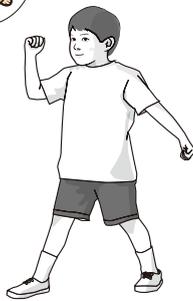
ポーズ見本



「ダック」のポーズ



「チータ」のポーズ



「タヌキ」のポーズ



「ウサギ」のポーズ



「カエル」のポーズ



「カメ」のポーズ



「ゾウ」のポーズ



「ネズミ」のポーズ



「ヒツジ」のポーズ



「イヌ」のポーズ



「カンガルー」のポーズ



「サル」のポーズ

